

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人やまなみ会

くわ技研

目 次

I	はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 2
II	生産活動	
	ア 就労継続支援A型事業	・ ・ ・ ・ ・ 2
	イ 就労継続支援B型事業	・ ・ ・ ・ ・ 2
	ウ 課題・次年度への提起	・ ・ ・ ・ ・ 3
III	利用者状況	・ ・ ・ ・ ・ 5
IV	職員状況	・ ・ ・ ・ ・ 6
V	防災・防火訓練報告	・ ・ ・ ・ ・ 7

I はじめに

昨年5月の新型コロナ「5類感染症」への移行後、通常の活動が戻りつつあり、生産活動においてもコロナ前の動きに近づいているものの、その一方で、物価に関しては原材料費・電気代・ガス代の高騰など今現在も上昇し続けている状況にあり、こうした経済環境の変化や社会の変化に対応しながら、事業運営を進めていきたい。利用者支援については、個別支援計画に基づき利用者のニーズに寄り添いながら支援を行っていく。また、大規模災害や感染症の発生に対しては、業務継続計画に基づき対処し、利用者・職員が安心して働きやすい環境づくりを目指す。

II 生産活動について

ア 就労継続支援A型事業

令和5年度のA型収益額は前年度より約212万円増益（前年度比+10%）となった。内訳は、役務作業が約176万増益（前年度比+11%）・畳作業が約36万増益（前年度比+7%）となっている（表1, 2参照）。役務作業は定期の顧客が増え前々年度より順調に収益が上がっている。畳作業は、近年の住宅の洋風化により年々収益が下がってきていたが、昨年度は大口の注文が続き前年より増益となった。材料費（畳）については、原材料費が高騰している為、仕入れ内容の精査・調達方法の見直し、作業工程の見直しを行いコスト削減につながった（表3参照）。今後も価格の高騰は続くと思われる為、販売価格の見直しを視野に検討していく。

イ 就労継続支援B型事業

令和5年度のB型収益額は前年度より約45万減益となった（前年度比-7%）。内訳は、清掃作業が約21万減益（前年比-4%）・襖障子作業が約24万減益（前年比-18%）となっている（表1, 2参照）。清掃作業は大口の取引先の工事の影響で減益になったが、数十件定期の契約を結んでいる為、安定した収益を上げることができている。

襖障子作業も畳作業と同様の理由により、年々収益が下がっている。原材料費や輸送費も大幅に高騰している為、畳作業同様コスト削減を行うと同時に、販売価格の見直しを検討し増益に転じるよう努めていく（表3参照）。

ウ 課題・次年度への提起

作業時間の効率化・技術の向上・コスト削減等業務改善に取り組み、地域に信頼される事業所を目指す。また、利用者が幅広い分野で継続的に就労できるよう、作業種を増やしていく予定である。また、利用者が安全で安心して働けるような職場環境を構築するために、指導力のある職員の育成にも鋭意、取り組む方針である。

表 1

		令和4・5年度		収益
就労支援A型	内訳	令和4年度	令和5年度	前年度比
	役務作業	16,114,289円	17,872,609円	+11%
	畳作業	5,204,400円	5,568,600円	+7%
	合計	21,318,689円	23,441,209円	+10%
就労支援B型	内訳	令和4年度	令和5年度	前年度比
	清掃作業	5,489,880円	5,277,810円	-4%
	襖・障子作業	1,293,100円	1,051,900円	-18%
	合計	6,782,980円	6,329,710円	-7%

表 2

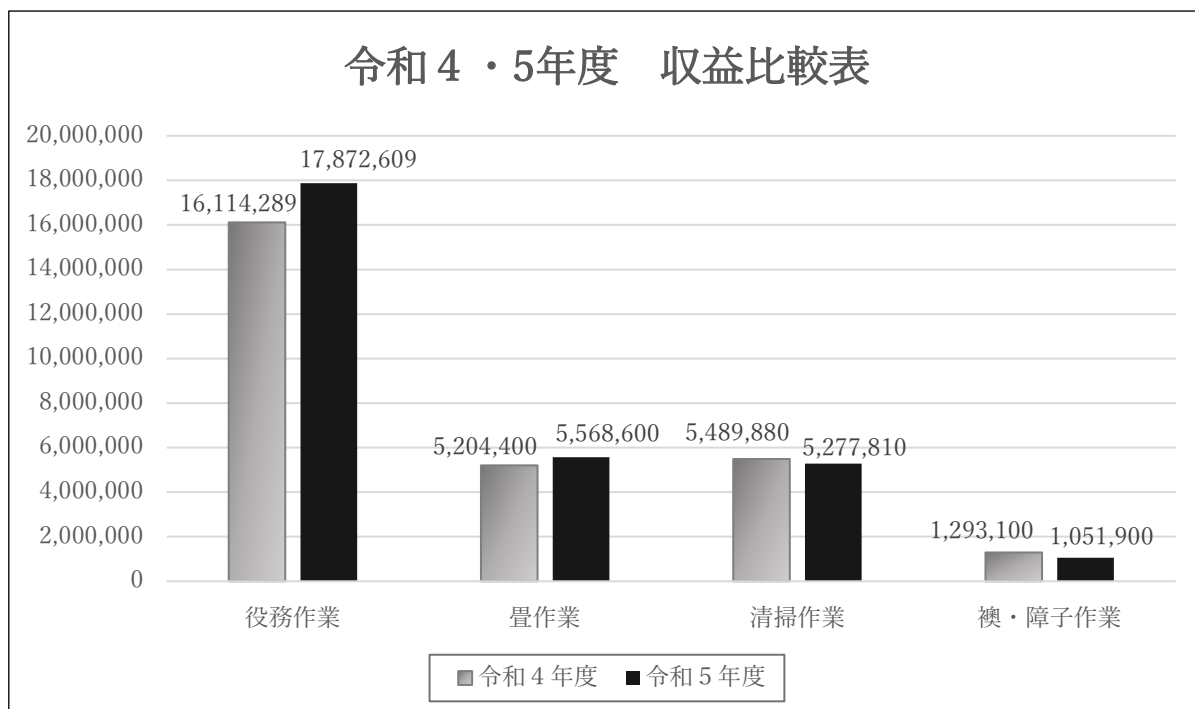


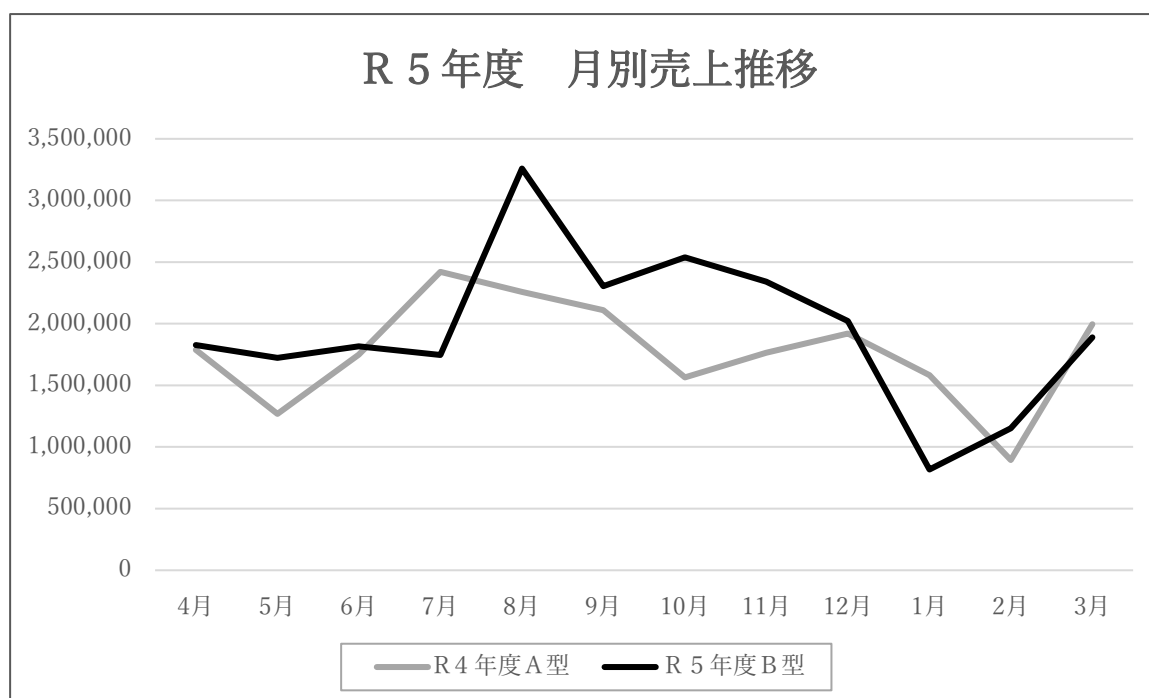
表 3

令和 4・5年度 材料費

就労支援 A 型	内訳	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比
	役務	0 円	0 円	-
畳材料費	4,659,182 円	3,589,520 円	-23%	
合計	4,659,182 円	3,589,520 円	-23%	

就労支援 B 型	内訳	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比
	清掃	89,368 円	81,277 円	-9%
	襖・障子材料費	731,293 円	1,010,092 円	+38%
	合計	1,017,451 円	1,091,369 円	+7%

表 4



Ⅲ 利用者状況について

今年度の利用者状況は、A型定員20名中現員15名、B型定員20名中現員16名となっている。A型については、40代～60代利用者が15名中12名を占め、30代以下の利用者が3名となっている。B型については、40代～70代利用者が16名中13名を占め、30代以下の利用者は3名となっていて、若い世代の利用者数が極端に少ない。総体的に高齢化が進んでおり、これに伴って体力的な衰えが顕著になっている。今後は利用者の体調を考慮した支援体制を継続しながら、本人のニーズに合わせ事業所の変更や介護保険の活用等も検討していく必要がある。

人材の確保に関しては、昨年度、支援学校実習生2名の受入れを行った。引き続き支援学校や相談事業所と連携を取りながら進めていく。

なお、コロナ禍にできていなかった外出・食事会のレクレーションを再開したが、今後も継続して、利用者の楽しめる行事を実施する方針である。

利用者状況（令和5年度）

事業名	定員数	新規利用	事業変更・退所	現員	平均年齢
A型	20名	1名	0名	15名	47歳
B型	20名	0名	2名	16名	57歳

令和4・5年度 利用者賃金・工賃

令和4・5年度 利用者賃金・工賃			
A型 賃金	内訳	令和4年度	令和5年度
	支給総額	16,198,779円	18,049,001円
	平均額	99,379円	103,730円
	平均利用者数	12.5名	13.4名
B型 工賃	内訳	令和4年度	令和5年度
	支給総額	5,251,130円	5,109,664円
	平均額	25,005円	27,380円
	平均利用者数	15.7名	15.6名

IV 職員状況について

福祉サービス提供者としての基本姿勢・専門的知識・資格習得のための研修に参加し、職員の資質向上に努めた。

令和5年度 研修・会議

月	研修内容	参加人数
5	熊本県社会就労センター施設長会議	1名
6	R5年度指導監査研修	1名
7	熊本県社会就労センター施設長会議・職員研修会	1名
8	R5年度社会福祉法人法令関係研修会	1名
9	R5年度社会福祉法人労務研修会	1名
10	「今、就学を考えよう」学習会	1名
12	障がい者虐待防止のためのオープンセミナー	1名
1	サービス管理責任者実践研修	1名
2	阿蘇圏域就労支援部会	1名
	R5年度社会福祉法人労務研修会	1名
3	R5年度 集団指導（オンライン）	1名
3	若年性認知症福祉的就労支援事業研修会	1名
3	熊本県社会就労センター施設長会議	1名

VI 防災・防火訓練報告

施設内で火災が発生したとの想定で実践的訓練を令和5年11月、令和6年3月の計2回実施し、職員、利用者への防災意識向上を図った。次年度も引き続き実践的訓練を行い、防災意識向上に努めていく。

また、地震や台風など大規模な自然災害が発生した場合を想定した自然災害避難訓練を令和6年3月に実施し、連絡網、避難行動等の確認を行った。